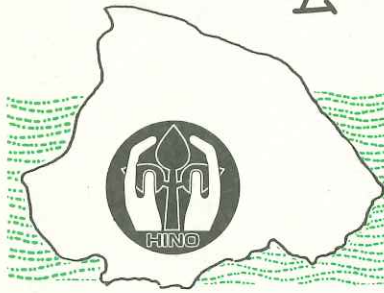


会報



# 緑のまち

第27号 平成13年10月24日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1  
電話 042(585)4740



イチョウの木は中国が原産地と言われ、昔から社寺の境内など日本各地に植栽されています。昭和に入り、街路樹として利用されるようになりましたが、成育が良く、放置しておくとも際限なく伸び、高さ50メートルにもなります。

秋には美しく黄葉し、モミジの紅葉とあわせ、この美は双璧で甲乙つけがたいものです。

イチョウは雌雄異株で、実は雌株につきます。これがギンナン（銀杏）で、表皮は悪臭がするため嫌われていますが、中身はおいしく、珍味として酒のつまみまた食材の添え物として利用されています。

多摩平団地内には500本程が街路樹として植えられておりますが、四季折々の顔を持ち、市民の目を楽しませています。ちなみに、街路樹は実の付かない雄株が利用されていますが、この株作りは接ぎ木によるとのことです。

# 平成12年度 事業報告・収支決算

## I. 緑化推進に関する普及啓発事業

- 春・秋の緑化月間
  - 家庭緑化の日（花苗（ペチュニア・クリーピア）の配布、緑のリサイクル103種類464点、花と緑の健康相談20件等）
  - 山野草盆栽展（155点を展示 延べ入場者448名）
  - 公園及び地域清掃の日（春・秋合計延べ279団体参加）
- 緑化講習会（庭木の手入れ等10回開催 延べ259名参加）

## II. 緑化推進に関する事業活動

- 花の里親里子運動（里親231名、種子850袋）
- 公共施設等の花卉植付
- サクラ植樹募金運動（募金額1,306,722円、サクラ植樹20本）

## III. 緑化推進に関する調査・研究

高幡台団地ノリ面にヘデラ品種のつる性植物を植栽

## IV. 受託事業

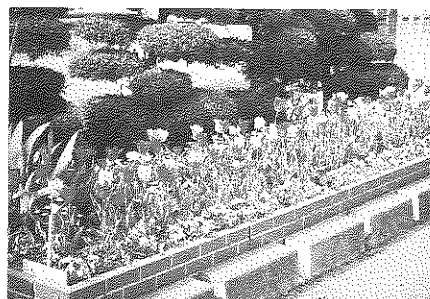
公園清掃等管理事業（多摩平第2公園ほか103公園実施）



第2回 サクラ植樹祭



講習会「初心者のためのガーデニング」

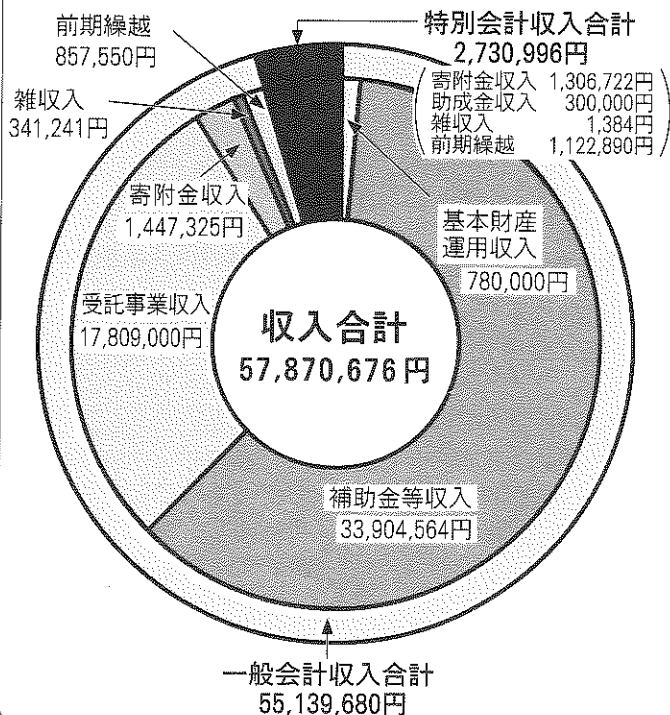


南平体育館花壇「きれいに咲きました」

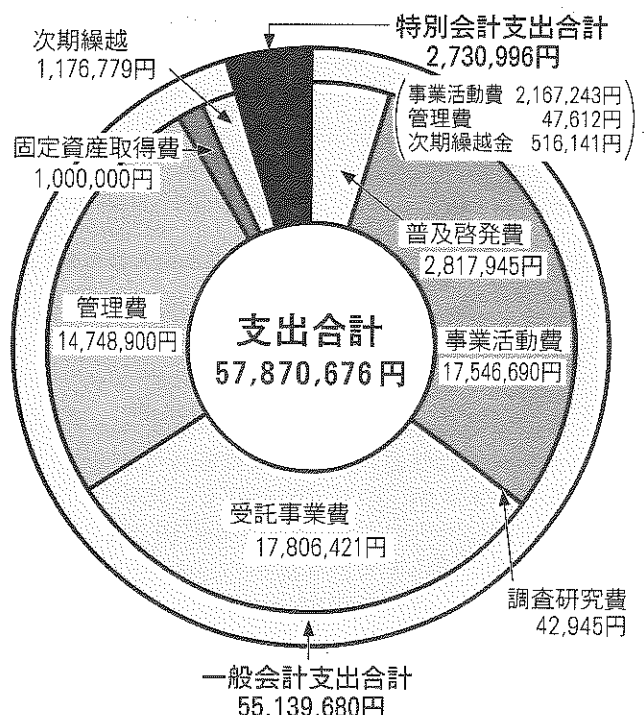


講習会「正月の寄せ植え」

### 収入の部



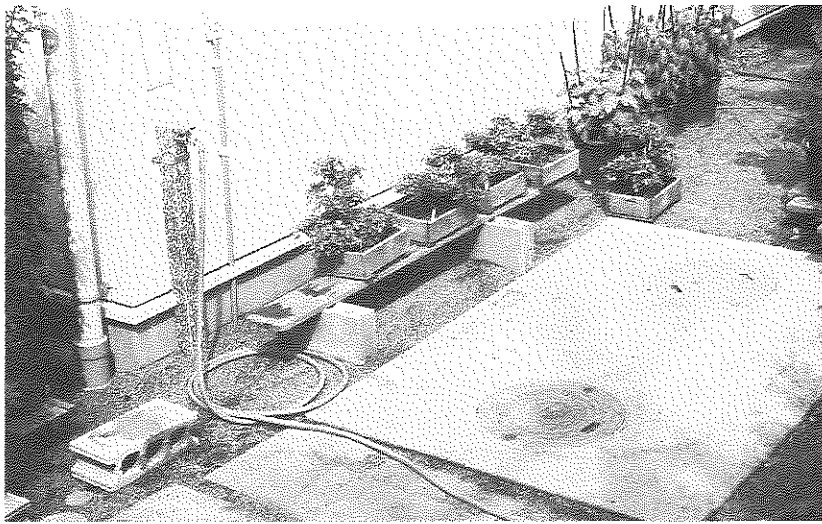
### 支出の部



# 雨水利用

前回の会報「緑のまち」で、『雨水は資源』と題し、墨田区が積極的に雨水利用していることを掲載いたしました。

日野市・緑と清流課でも、環境緑化協会隣にある汚水浄化槽を、この9月、公共下水道に接続した際に、浄化槽を壊さないで、中をきれいに清



掃し、雨水を溜め、菊の灌水に使用できるよう試みました。水道水の利用量は年々増え続けております。昭和40年には、一人当りの使用量は、年間約68ℓでしたが、生活水準の向上、下水道の普及等により、現在（平成12年）では、約301ℓと45倍に増加しております。そこで、節約を兼ね、雨水利用を考えました。緑化協会の屋根（64㎡）に降った雨はたて樋を流れ、貯水槽（2.8㎡）に溜ま

ります。9月の台風で満水となり、毎日、菊に与えております。現在、地球上では、熱帯雨林の減少により、地球環境のバランスが崩れ、地球温暖化防止等が世界規模で叫ばれております。これに付随し、異常気象も見受けられ、地球上いたるところで集中豪雨、干ばつ、砂漠化と顕著です。地球資源は大切にしたいものです。



緑化協会では、数年前からプランターや花壇に植える花の苗（パンジー、ケイトウ、ペチュニア、ヒマワリ、サルビア等）を少しずつ栽培してまいりました。

昨年より、冬花壇用の葉ボタンを大量に栽培するようになり、今年も2,000株程、畑に定植いたしました。実際に作ってみて、その大変さを身を持って痛感しております。また、技術が伴わないため、灌水に始まり、害虫駆除、病気対策、温度管理等、どれを取っても、手探りの状態です。農家の方々の苦勞が本当に良く理解できました。農家の方は豊富な経験と高度な技術により、簡単に作っているよう

## 『緑化協会での苗作り』

に見えますが、実際に栽培してみると、天候に大きく左右されるだけに大変です。種を蒔き、芽が出た時に虫に食べられたり、病気になる。良い苗を選び、畑に定植すると、また、すぐに害虫がつかます。ひどい所では、

1畝80株植え、一夜にして、25株も根元を食べられ、茎が折れ、苗が駄目になり、がっかりしました。その後、消毒したりして、残りを助けるべく努力をし、これでは、「買ったほうが……。」と何度も思いました。気が取り直し「虫などに負けるものか。」と、皆で勇気付け合い、本を取り出し、この虫にはこの薬と勉強中です。お陰でチームワークは一段と良くなったようです。

9月の初めに、パンジーの種を蒔きました。種が小さく、床に一粒

ずつ蒔くので、皆、四苦八苦です。水をきらさないよう、毎日、灌水した結果、良く発芽し、日増しに大きくなりました。10月1日に移植をし、1,300株程鉢上げができました。パンジーはこれからの育苗が大変なようです。寒さに向かうため、温度調整、施肥方法（液肥）に細心の注意が必要のようです。いずれも、プランター、花壇に植え付けできるように製品（立派な苗）を作るべく、全員で頑張っております。



## 緑の写真展

11月20日(火)～12月3日(月) (土、日、祝日は除く)  
午前8時30分～午後5時 市民ホール (市役所1階)

日野市は川、丘陵、田園等があり、緑豊かな街です。  
四季折々の顔は、私達に安らぎと潤いを与えてく  
れます。

気軽にカメラにおさめ、参加してみませんか。



### \* 作品募集中

#### テーマ1… 「日野の四季」

市内の緑や緑のある生活風景など

● サイズ カラープリント 四ツ切り (ワイド  
四ツ切りも可)

● 規 定 ①写真は未発表のもので1人3点まで(単写真)

②作品の裏面に題名、撮影年月日、撮影場所、住所、氏名、電話番号を記入した応募票  
(自作可)を貼ってください。

#### テーマ2… 「わが家のみどり」

ご家庭でかわいがっている草花や丹精込めた庭木など、わが家のみどりを撮った写真

● サイズ サービス版以上六ツ切りまで

● その他 応募写真にお便りか、ちょっとした説明を添えてください。

※応募方法 どちらも11月5日(月)までに、(財)日野市環境緑化協会へ持参か郵送  
(〒191-0016 日野市神明2-13-1)

問合せ先 (財)日野市環境緑化協会 ☎585-4740

# 皆さんご参加ください

### 講習会

## 正月飾り・松竹梅の寄せ植え

12月7日(金)

午前10時～正午 (午前の部)  
午後2時～4時 (午後の部)

新春の寿の気分を華麗に艶やかに演出してみませんか。春飾りとは、昔から、「歳寒三友」とうたわれた松、竹、梅を基に仕立てられた寄せ植え盆栽です。

緑化協会では、これに寒菊、南天を添え、個性溢れる一品として、皆様に仕立てていただきます。

● 会 場 (財)日野市環境緑化協会 (日野中央公園南側)

● 講 師 森 山 七 六 氏

● 費 用 2,700円 (材料費)

● 定 員 午前・午後各20名

● 申込み 11月26日(月) (必着) までに、往復ハガキで。

往信用裏面に講習会名、午前、午後のどちらかと住所、氏名、電話番号を、返信用表面に住所、氏名を記入し、(財)日野市環境緑化協会 (〒191-0016 日野市神明2-13-1) へ

# 秋の緑化月間行事

期間 平成13年11月1日～12月7日

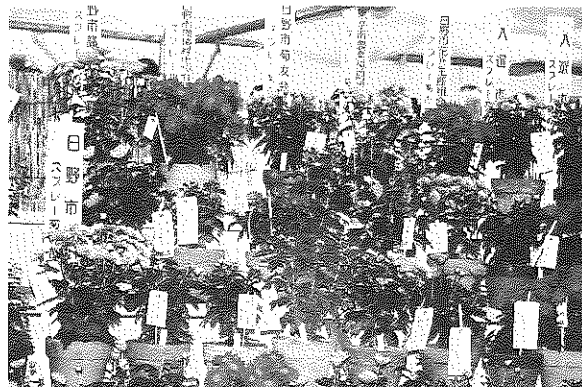
## 菊花展

深まる秋、菊の鑑賞には絶好の季節です。

菊は中国から、奈良時代に日本に伝えられたと言われ、日本文化とはゆかりが深く、和歌にも詠まれております。

今では、品種改良され、多種多様な菊がありますが、協会では市民配布したポットマム、スプレー菊を展示します。また、市で作った大菊、懸崖のほか、珍しい菊も展示しております。

お誘い合わせのうえ、お出掛けいただき、菊薫る秋を満喫してください。



**配布苗菊花コンテスト** 11月1日(木)～11月7日(水) 市民プラザ(市庁舎前)

★小学校の部、老人クラブの部、市民一般の部に分け、それぞれ丹精込めた作品を展示します。  
小さな苗が皆さんの努力でりっぱに育ちました。

**表彰式** 11月7日(水) 午後3時30分～ 市民プラザ(市庁舎前)

★コンテスト参加作品のうち日野市長賞、協会理事長賞等38点を表彰します。

**古典菊、大菊の展示** 10月29日(月)～11月22日(水) 市民ホール(市役所1階)

★古典菊の肥後菊、嵯峨菊、江戸菊や、大菊など約100点を展示します。

**菊友会菊花展** 10月29日(月)～11月7日(水) 市民プラザ(市庁舎前)

★福助、だるま、盆養、切り花など150点を展示します。



## 緑化協会事務所で腐葉土、乾燥肥料を販売

**腐葉土** … 公園の落葉(ナラ、クヌギ、ケヤキ等)に米糠を加え、切り返しをしながら、2年間堆積し、叩き、ふるったものです。

**乾燥肥料** … 油粕、魚粉、米糠を入れ、発酵させながら切り返し、夏は約2ヶ月、冬は約3ヶ月かけて作ったものです。(緩効性肥料)

どちらも、菊、草花、野菜等の栽培には最適です。ぜひ、ご利用ください。

\*腐葉土(約4ℓ) 100円      \*乾燥肥料(400g) 100円

\*お徳用腐葉土(約20ℓ) 400円と(約44ℓ) 800円もあります。

# 私達から

## の提案

市内の小学校6年生を対象に募集した作文「緑のまち」の中から、優秀賞4編を紹介します。  
今年、20校より、619編の作文が寄せられ、今回、掲載できなかった中にも、力作がたくさんあります。1月に作文集として、希望の方に差し上げますので、ぜひ、お読みください。

## 強く生きる花

日野市立程久保小学校

長谷川 唯 実

私の家から学校までの通路は、コンクリートの長い坂道です。いつも学校が終ると、暑い中を、日かげに出たり入ったりしながら登って行きます。そんないつもの帰り道で、私は、とても感動させられるものに出会いました。夏休みの少し前、一学期の終りごろに、私はいつものように、あの坂道をのんびり歩いていました。「今日は帰ってからあれをしてこれをして……暑いなあ。」なんて考えていると、ふと見なれないものを見かけました。道のはじ、道とどぶのさかい目に、小さなひまわりのくきがのびていたのです。かたいコンクリートとコンクリートの間に、すき間なんてないはずなのに、そのくきはしっかりとびていました。まるで

道ができる前からそこに植わっていたかのようにです。私はおどろきました。前からこんな所にひまわりなんてあったかなあ……、ましてなんでこんなせまい場所に生えているんだらう。その時は、私もそのぐらしか考えていませんでした。けれども、日に日に生長していくひまわりの姿を見て、すばらしいなと思うようになりまし。ひまわりは、太陽の光をあびてぐんぐんと茎をのびし、青々とした葉をいっぱいにしげらせました。気がつくくと、三十センチぐらいしかなかった背だけは、もう一メートル近く伸びていました。いくら環境が良くなくても、自分の生命力でがんばれば、こんなに立派な体をつくる事ができる。そんなひまわりに、私は心から感動しました。そして何週間かが過ぎ、もうかなり暑くなってきたころに、一輪だけひまわりの花が咲きました。直径十センチほどの小さ

な花だったけれど、今まで庭で育てたものよりも、学校で育てたものよりも、一番きれいに見えました。いくらきれいな花でも環境がわるく、すぐに命を落としてしまうのは、とても悲しい事です。道ばたのひまわりでも、小さな草でも、かたいコンクリートなんかではなく、広い場所で自然の土で育ててあげたいです。そのためにも私は、もっと町の中に自然が暮らせる公園や原っぱ、ピクトープなどを作ってほしいと思います。そこはきつと植物だけではなく、遊んだり散歩をしたりする私達にも、いい影響をもたらしてくれると思います。私は、いつか町の中がきれいな自然であふれるようになる事を心待ちにしています。

今あのひまわりは、私の身長をこしてたくさんの花をつけました。そしてあの坂道を、夏の光をあびて明るく照らしています。

## レンゲ草を 探したこと

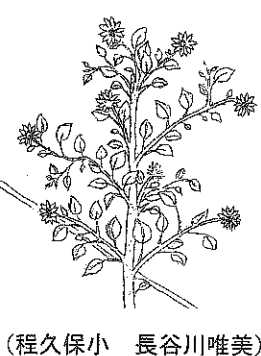
日野市立日野第一小学校

田原 怜

ぼくが、四年生の春、母が「レンゲ草を見に行こう。」と言いました。

レンゲ草とは春に水田にさかせる花です。レンゲ草をさかせた水田は秋に米がよく実るそうです。母が子どもの頃は、レンゲ畑がたくさんあったそうです。「どこまでもどこまでも続くレンゲ畑を見せたい。」と母が言いました。ぼくはレンゲ草を見たことがなかったのです。見てみたいと思いました。

当日、母がぼくと妹で自転車で乗って探しに出かけました。



(程久保小 長谷川唯美)

最近では畑の持ち主が土地を売ってそのあと家が建つ事が多いそうです。この年はレンゲ畑を見られなく残念でした。今年の春、おばあちゃんがレンゲ草の花をくれました。ピンクの小さな花でした。においをかいでみたら土のにおいがしました。かわいいとは思ったけどどこまでもどこまでも続くレンゲ畑なんて想像もつかないです。四月八日はお父さんのおばあちゃんのお誕生日です。今年のお誕生日はみんな「たま川」というレストランで食事しました。そのレストランに大きな窓があってなんとその窓の向こうにはどこまでも続くレンゲ畑がありました。去年あれだけ探しても見つからなかったレンゲ畑です。「こんな所があったなんて。」と、母がうれしそうに言いました。後から知ったのですが、今年日野市の緑化運動のためレンゲ草を田んぼに植えたそうです。一つ一つのレンゲ草が集まり畑になるときれいでぼくも見られてよかったです。百年たってもレンゲ草が減らないといいですね。

# ぼくの おばあちゃん

日野市立日野第一小学校

佐野 敦

ぼくの住んでいる日野は、山が少ないので家の周りにある緑は庭や学校、神社やお寺と公園や畑ぐらいいしかありません。セミは、少ない緑を見つけて低い木や、物干ざおでも鳴いているので、少しかわいそうです。緑のことでぼくの心に思いうかぶのは、ぼくのおばあちゃんの事です。

ぼくの家には栗林があります。ぼくのおばあちゃんは、栗は食べるだけじゃなくて、落ちた葉っぱを集めてふ葉土を作ります。夏の間、草むしりをして、秋には栗のイガが、葉とまざらないようにします。集めた葉は冬の間ねかして、米ぬかや水を何度も何度もまぜて作ります。このふ葉土は野菜を育てる時に使います。おばあちゃんは、化学肥料をなるべく使わず、また消毒を少なくして、野菜作りをしています。採れた野菜は形が曲がっていたり、虫に食べられているけれど、とてもおいしいです。畑の仕事はいつもお

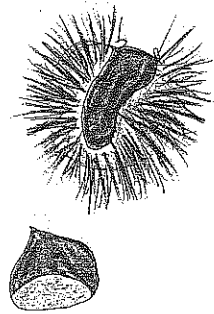
ばあちゃんがしているけれど、収穫の時は家族で手伝いをします。

おばあちゃんは、ぼくの知らないことをたくさん教えてくれます。玉ねぎが収穫の時期になると、葉がたおれて教えてくれることや、ジャガイモを植える時になぜ灰をかけるかなど、ぼくにわかるように話してくれました。

おばあちゃんは畑だけでなく、庭にある花の手入れもしています。また、おばあちゃんは、花を苗で買うのではなくて、種からきちんと育てて、毎日の水くれもかかしません。花が咲いた後も種を取ってまた育てます。だから家にはいつもたくさんさんのきれいな花が咲いています。道を通る人がきれいだね、と言ってくれているし、おばあちゃんも喜んでくれます。おばあちゃんも大切にしています。雨水をためたり、おふるの余り水も使って草花に水をあげています。

ぼくは、花を見ていると緑はいいなあと思います。ぼくのおばあちゃんは、いつもいろいろなことを教えてくれる。ぼくの緑の先生です。ぼくに手伝えることは、まだまだ少ないけど、ぼくが大きくなるまでいつまでも元気で、畑を続

けてもらいたいです。



(一小 佐野 敦)

## 一つの種から

日野市立日野第五小学校

鈴木 恵

私は果物が大好きです。食べた後、果物はそれぞれ形の違った種が残ります。私が保育園に通っていたころ、びわを家族で食べて、

「この種を地面にうめてみたいな。どうなるかな。」と言って家の庭に植えてみました。植えてから毎日毎日楽しみにながめていました。ある日芽が出てきて、だんだん芽は大きくなってきました。そのびわの木も今では私の背をはるかにこえ、二メートル五十七センチくらいの木に生長しました。おとしあたりから実もつく様になり、できたびわの実を家族で分け合って食べま

した。お店で売っている物とは味が違い、あまり甘くはありませんでしたが、自分の家で育てたたった一つぶの種からこんな大きな木に生長し、実が食べられる様になり嬉しです。自然の生長する力はすごいなと思いました。それから、ミカンの種、スイカの種、カボチャの種なども植えてみました。ミカンは、一メートルくらいの木と一メートル五十センチくらいの木に生長しています。

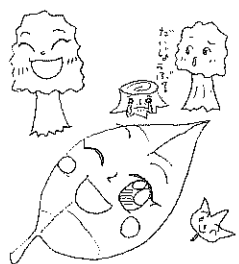
春になるとミカンの木に小さな虫やアゲハの卵や幼虫をたくさん見つけます。アゲハの幼虫は、パクパク、モグモグ、やわらかそうな一番新しい葉のところが知っていいのでよく食べます。今年も我家の庭から何びきかのアゲハがさなぎになりとび立っていききました。庭にいろいろな木や植物を植えておくと、テントウムシやアリなども寄ってきます。鳥や虫が集まり、庭は、にぎやかになった感じがします。

私が三年生の時、カボチャのつるが、どんだんのびて、黄色の花をさかせ、直径十五センチくらいの実になりました。とてもおいしく食べました。私の家では、十年くらい前から生ごみを庭のすみにうめ

ています。最初はどのようにしてするのかわかりませんでした。生ごみや落ち葉などをミミズが食べて栄養たっぷりの土に分解してくれるんだとお父さんに教えてもらいおどろきました。庭の土をほると時々ミミズを見つめます。栄養のある土なんだなと思いました。

私は、日野市のみんなに、もっともっと木や花を植えてほしいと思います。緑が多ければ、人の心をほっとさせてくれるし、緑いっぱい空気を吸うとさっぱりさわやかな気持ちにしてくれるからです。

そして、人間は、一人一人が物を大切にし、自然に返すことのできるものは自然に返し、ごみを少しでも減らし、人にも動物にも生きていくみんなに優しい社会がつくれるようにしていきたいと思っています。



植物を大切に。……  
(六小 清水 成美)

## サクラ植樹募金収支決算報告

(平成11年11月1日より平成13年3月31日まで)

募金総額		3,724,278円	
年度	平成11年度	平成12年度	
工事費	882,200円	1,995,400円	
苗木代	47,250円	100,800円	
消耗品費(黒土ほか)	5,774円	71,043円	
管理費(切手ほか)	58,058円	47,612円	
合計	993,282円	2,214,855円	

3,724,278円 - (993,282円 + 2,214,855円) = 516,141円

※残金516,141円は、サクラ維持管理会計を設けて、今後の維持管理に使わせていただきます。



## サクラ植樹にご協力ありがとうございました

市民の皆様からの募金により、日野橋下流の堤防敷に、30本のオオシマザクラの植樹を完了いたしました。

東京日野ライオンズクラブ、(財)日野自動車グリーンファンDを始め、多くの市民の皆様にご協力をいただき、3年計画が2年で実施できました。今年2月25日(日)、厳寒の中、日野市長を始め、幼稚園児、小学生、周辺自治会の方々等、40人以上が参加して下さり、無事20本(昨年と

合わせ30本)の植樹ができました。

今年の6月は、こののほか雨が少なかったうえ、7月の例年にならない暑さ(日照り)も加わり、残念ながら、数本が枯れてしまいました。緑化協会が補植いたします。皆様のご協力を心から厚く感謝申し上げます。

## 街角だより

日野市の農業も年々変わりつつあります。昭和33年に旧日野町と七生村が合併しました。この頃は、都下随一の穀倉地帯(稲作)として栄え、水田が380ヘクタール、畑は320ヘクタール程ありました。

最近では市民の需要の多い観光的もぎ取り等できるブルーベリー、リンゴ、ブドウ、梨(多摩川梨として以前より栽培されていた。)の栽培が盛んになりつつあります。畑の中に青色の網が張り巡らされている所を見かけると思いますが、これはブルーベリーのたわわに稔った実を鳥に食べられないよう保護しているためです。暇を見つけてご家族で、市内散歩に出掛けてみませんか。きっと、新しい日野を発見できると思います。

## 「緑の募金」結果のお知らせ

今年も、自治会、老人クラブ、各事業所等、多くの皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、昨年以上回る成果を上げることができました。心より、厚くお礼申し上げます。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業等に使われるほか、当協会にも還元され、花壇植付等、市内の緑化推進に役立てさせていただきます。

### 募金総額

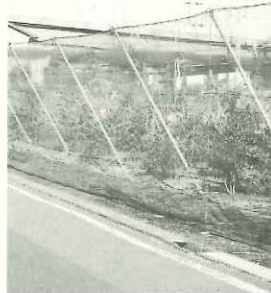
一四二万九千五〇九円

### 内訳

- 自治会 一〇九万三千一四二円
- 老人クラブ 一三万七千八〇一元
- 公立学校 三万六千七六九円
- 私立幼稚園・保育園 四万四千八六九円
- 団体・事業所 七万八千七百八円
- 一般・街頭募金 一九万七千四百二円
- 市役所機関 一三万二千三八八円

## 市内果実生産状況

果実名	作付面積	収穫時期	栽培地域
ブルーベリー	196 <sup>アール</sup>	7月下旬~8月下旬	市内全域
ブドウ	241 <sup>アール</sup>	9月	豊田、上田、新井
リンゴ	58 <sup>アール</sup>	9月下旬~11月上旬	百草
ナシ	813 <sup>アール</sup>	8月中旬~10月下旬	市内全域



## 編集のあとに

これから紅葉の美しい季節になります。

日野市内にも、高幡不動尊、百草園など、もみじの見所があります。澄み渡る秋空の下、もみじ狩りを楽しんでみてはいかがでしょう。少し足を延ばして、高尾山に登って、一汗かくのも気持ちの良いものです。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。